

保健福祉・協働委員会委員長報告

保健福祉・協働委員会における審査の経過並びに結果についてご報告いたします。

本委員会に付託されました案件は、
甲第241号議案 令和7年度 岡山市一般会計補正予算(第6号)
についてであります。

これらの審査に当たりましては、当局の説明を聴取し、慎重に審査いたしました結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

それでは、審査の過程で特に議論となりました点についてご報告いたします。

まず、岡山市一般会計補正予算（第6号）中、民生費のうち、物価高騰対応定額給付金事業についてです。

これは、食料品等の物価高騰の影響下にある市民生活を支援するため、物価高騰対応に係る国庫支出金を活用した現金の給付を行うもので、全市民に一人当たり3千円、住民税非課税世帯に追加で一人当たり2千円を支給しようとするものです。

来年、2月中旬から対象世帯への振込開始を予定しており、事業費は28億4,100万円で、全額が国庫支出金から充当されるものであります。

まず委員から、給付金に係る詐欺被害等が発生することが懸念されるため、市のほうからもしっかりと被害防止の啓発をしていただきたいが、何か方策はあるか、との質疑があり、当局から、通知の封筒への啓発や、消費生活センター等の関係機関と連携しての注意喚起などを図っていきたい、また市民のひろば等へも給付金に係るお知らせを掲載していきたいと考えている、との答弁がありました。これを受け委員から、住民登録のある外国人の方々も対象者となるが、そういう方々への多言語対応などの配慮もお願いしたい、との要望がありました。

以上、保健福祉・協働委員会の報告を終わらせていただきます。